

[6353/4D-018-002]

Ver.17

検査中止項目

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4D018 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画) [蓄尿]

## 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画)

[蓄尿]

17-ketosteroids, 7 fractionation

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6353

001

受託終了

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

01 U

丸底プレイン(白)

採取材料

蓄尿

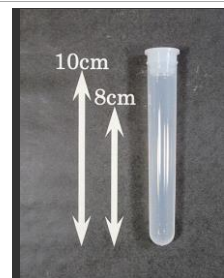
採取量

9 mL

測定材料

測定必要量

5.0 mL



採取容器について

検体採取について

酸性尿は避けてください。 &lt;br /&gt;保存剤の影響なし

採取後検体の取扱い

検体搬送について



[6353/4D-018-002]

Ver.17

検査中止項目

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4D018 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画) [蓄尿]

## 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画)

[蓄尿]

17-ketosteroids, 7 fractionation

連絡先 3764

## 生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
51	アンドロステロン	1.12 - 4.71	0.22 - 2.78	mg/d
52	エチオコラノロン	0.43 - 3.23	0.10 - 2.39	mg/d
53	デヒドロエピアンドロステロン	2.92 以下	1.49 以下	mg/d
54	11-ケトアンドロステロン	0.50 以下	0.48 以下	mg/d
55	11-ケトエチオコラノロン	0.08 - 0.63	0.62 以下	mg/d
56	11-ヒドロキシアンドロステロン	0.39 - 2.04	0.19 - 1.17	mg/d
57	11-ヒドロキシエチオコラノロン	0.54 以下	0.75 以下	mg/d

## 基準値情報

## 緊急異常値

## 電話連絡対応

## 臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;17-KSは、11-deoxy-17-KSと11-oxy-17-KSに分けられ、前者は副腎、睾丸由来のアンドロステロン（An）、エチオコラノロン（Et）、デヒドロエピアンドロステロン（DHEA）の3分画があり、後者は糖質コルチコイド由来の11-ケトエチオコラノロン（11-keto-Et）、11-OH-アンドロステロン（11-OH-An）、11-OH-エチオコラノロン（11-OH-Et）、11-ケトアンドロステロン（11-keto-An）の4分画がある.<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;意義として、副腎疾患、特にCushing症候群の病因の探求や鑑別に、他の検査や血中11-OHCS、尿中17-OHCS測定などと相まって診断価値が高いことが認められている。副腎癌、Cushing症候群ではET/ANが大で、DHEAは癌で非常に高く、腺腫、過形成では低値を示す傾向が見られる。また、酵素欠損による先天性副腎過形成の鑑別及び欠損酵素の判別にも役立つ。

## 異常値を示す病態・疾患

## 参考文献

岡谷裕二. 内分泌学的検査 副腎皮質関係 尿中17-ケトステロイド(17-KS)とその分画. 日本臨床. 1995, vo

石田孝ほか. リンゴ貝加水分解酵素による尿中17-OS抱合体短時間水解とリン酸除去効果. 臨床化学. 198

[6353/4D-018-002]

Ver.17

検査中止項目

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4D018 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画) [蓄尿]

## 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画)

[蓄尿]

17-ketosteroids, 7 fractionation

連絡先 3764

エスアールエル 検査要項

## JLAC10

分析物	4D018	17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画)
識別	0000	
材料	004	蓄尿
測定法	203	GC-MS

## 変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 採取容器・報告日数変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2019/04/30	2019/04/01～	基準範囲変更
6	2019/07/08	2019/05/15～	採取容器変更([ネ]⇒[U])
7	2019/11/14	2019/11/14～	JLAC10分析物名称を変更
8	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
9	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
10	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
13	2022/05/09	2022/09/06～	検査方法変更
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂

[6353/4D-018-002]

Ver.17

検査中止項目

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4D018 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画) [蓄尿]

## 17-KS7分画(17-ケトステロイド7分画)

[蓄尿]

17-ketosteroids, 7 fractionation

連絡先 3764

15	2023/04/25	2023/04/01～	検査中止
16	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
17	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定